

内田あぐり 十鳥取県立博物館コレクション



内田あぐり《drawing》2010年 部分 作家蔵

動 静

平成30年度 美術部門テーマ展示 I 夏休み企画

7月21日|土| - 8月26日|日|

開館時間:午前9時~午後5時 (入館は閉館の30分前まで)

土・日・祝日は午後7時まで開館、会期中無休

会場:鳥取県立博物館 2階 近代美術展示室

観覧料:一般=180円 / 20名様以上の団体=150円

次の方々は無料です。◎大学生以下 ◎学校教育活動の引率者 ◎70歳以上

◎障がいのある方・要介護者等及びその介護者、難病患者の方



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

動 静

内田あぐり + 鳥取県立博物館
コレクション

映像や舞台芸術と異なり、動くことのない画面の中に動きという感覚を導入すること、つかのまに描かれる画面の中に、彫刻のような永遠の相を刻むこと。画家や写真家は常にこの二つの可能性の間で仕事をしてきました。ターナーは霧の中を走る機関車を描き、レンブラントが描く群像は 17 世紀の夜警たちの姿を永遠に画面にとどめます。

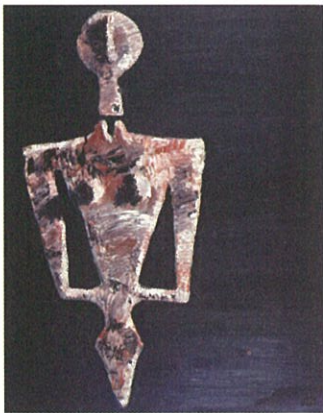
今年の夏休み企画テーマ展示では、人体をモチーフにダイナミックな身体の動きを表現してきた日本画家 内田あぐりさんを迎えて、「動/静」というテーマで美術表現の多様な在り方を探ります。展示にあたっては、新しい試みとして、内田さん自身にゲスト・キュレーターも務めていただき、このテーマのもとに自らの作品と一緒に展示する作品を選んでいただきました。内田さんは、鳥取県を代表する写真家 塩谷定好や、洋画家 尾崎悌之助の作品などをコレクションの中から選びました。波がはじける荒天の日本海、モノクロームの中に浮かび上がる古代の石像。私たちは塩谷と尾崎の作品の間に、あるいは同じ作家であっても別々の作品の間に動と静という表現の二つの対比を認めることができます。

さらに展示と関連して、舞踏家の動く身体を実際にデッサンするワークショップも開催いたします。動と静というテーマに沿って、絵画と舞踏、通常では別々の営みと感じられる表現の接点を探ります。多くの方の来場、そしてワークショップへの参加をお待ちしています。



内田あぐり《河》2018年 作家蔵

photo: 吉江 洋 太田市美術館・図書館「佐久市立近代美術館コレクション+『現代日本画へようこそ』」展会場風景



尾崎悌之助《原始への夢》1979年 当館蔵



塩谷定好《海》1937年 当館蔵



アトリエ風景

photo: 柳澤 大

内田あぐり プロフィール

- 1975: 武蔵野美術大学大学院日本画コース修了
- 1993: 文化庁在外研修員として渡仏、山種美術館賞展で大賞受賞
- 1999: 現代日本絵画の展望展でステーションギャラリー賞受賞
- 2002: 第1回東山魁夷記念日経日本画大賞展で大賞受賞
- 2003-04: 武蔵野美術大学在外研修員として渡米
- 2006: 内田あぐり個展「この世でいちばん美しい場所、あるいは」(平塚市美術館)
- 2009: 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009に参加
- 2011: メキシコ政府スカラーシップ特別プログラムとしてメキシコに滞在・展覧会
- 2011: 内田あぐり個展 絵画—素描 人体をつかむ (信濃デッサン館別館/梶多庵)
- 2013: 内田あぐり個展 “愛に関する十九のことば” (日本橋高島屋 美術館X)
- 2015: 開館記念展 vol.1. モダン百花繚乱「大分世界美術館」—大分が世界に出会う、世界が大分に驚く「傑作名品 200選」(大分県立美術館) 絵の始まり 絵の終わり—下絵と本画の物語—(武蔵野美術大学美術館)
- 2018: 開館1周年記念 佐久市立近代美術館コレクション+『現代日本画へようこそ』(太田市美術館・図書館) 個展、グループ展多数 現在: 武蔵野美術大学日本画学科教授

7月21日(土)

開催!!

関連
イベント

スペシャルワークショップ Moving—動きとかたち

本展出品作家 内田あぐりさんと、鳥取に滞在制作中の「旅するムサビ」のみなさんを講師に、舞踏家 大竹宥熙さんの動く身体を描きます。内田あぐりさんと、そのモデルとして30年以上作品に関わってこられた大竹さんのお二人をお招きしてのスペシャルな企画です。大きな和紙に日本画の画材を使って、舞踏を味わい、大胆に楽しく描きましょう。

講師: 内田あぐりさん(日本画家・武蔵野美術大学 教授)

「旅するムサビ」のみなさん(武蔵野美術大学 学生)

モデル: 舞踏家 大竹宥熙(おおたけ・ゆうき)さん

協力: 武蔵野美術大学

場所: 当館2階 近代美術展示室

時間: 14時~16時

対象: 小学生以上

定員: 40名

申込: 7月6日(金) 8時30分から電話のみで受付します。(定員になり次第終了)

持参品: 和紙は配布しますが、それ以外にも描きたい場合は紙を持参してください。(和紙以外でも可) 汚れても良い服装でおいでください。

参加費: 無料

★参加者の作品は、会期中展示室に展示し、8月27日(月)以降に返却します。

交通のご案内

- ◎ JR鳥取駅から
 - バス ①100円バス「くる梨(緑コース)」で「⑩仁風閣・県立博物館」下車すぐ
 - ②ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ◎砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
 - ④市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
 - ◎鳥取空港から 鳥取飛行空港連絡バスで「西町」下車約400m
 - タクシーで約10分
 - ◎自走 鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ※当館駐車場 21台駐車可能 (なるべく公共交通機関をご利用ください。)



ワークショップ申込み・お問い合わせ

美術振興課 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124

☎ 0857-26-8045 FAX 0857-26-8041

E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp